2万4174人（業界日4635人 一般日1万9539人）が来場

沖縄で「ツーリズムEXPOジャパン」初開催

日本観光振興協会、日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）は10月29日～11月1日、「ツーリズムEXPOジャパン旅の祭典in沖縄」（TEJ沖縄）を沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）で開催した。7回目となる今年のテーマは「旅のチカラで日本を元気に！」。世界30の国と地域、285の企業、団体が出展した。会期中（10月29、30日は業界日、10月31日、11月1日は一般日）には2万4174人（業界日4635人、一般日1万9539人）が来場した。【長木利通】

主催者会見は密対策を行い実施

展示会は、沖縄コンベンションセンターのほか、隣接する宜野湾市立多目的運動場で開催。国内28道府県、海外30カ国、地域から285の企業、団体（海外44、国内84、沖縄134、その他23）が出展した。

開会式を前に行われた主催者会見ではJATAの坂巻伸昭会長が「人が動く、集まる力は非常に大きなものがあり、旅の力で世界を元気にしなければならない。ニューノーマル時代の新しい観光モデルを目指す」と述べた。

TEJ実行委員会の高橋広行委員長はTEJ沖縄を「新たなMICEのモデル」化とすることを強調。開催のポイントとして、リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッドな商談会や完全事前予約制、広域分散型の採用、キャッシュレス決済の導入などを挙げた。

開会式では菅義偉首相、赤羽一嘉国交相のメッセージを披露。菅首相は「世界の観光産業は新型コロナの影響を受けている。豊富な観光資源は変わることはない。これを乗り越え、日本の津々浦々を訪れることで日本が元気となり、観光需要の回復につながる」とTEJ沖縄を契機とした観光需要回復への期待を寄せた。赤羽国交相は「国内の回復に向け、観光需要喚起策としてGoToトラベルキャンペーンを開始し、安全安心の旅のスタイルに向けた挑戦をしている。今後は公衆衛生レベルの高さが大きなポイントとなる。ポストコロナに向けて滞在コンテンツの開発、商品造成などに取り組んでもらいたい」と激励した。

初日には開会式のほか、スペイン、タイ、メキシコなど世界各国の大使が集まり、「コロナ感染を乗り越え、強靭（きょうじん）で持続可能な観光成長を目指す」をテーマに議論する「インターナショナル・ツーリズム・フォーラム」を開催。今後の海外旅行の再開に向けてJTBの山北栄二郎社長は「日本人の心理的な側面をクリアできれば外国への旅行は再開するはずだ。また、旅になじんでもらうことも大事。ビジネスでの往来が始まれば娯楽での旅行も増えてくるだろう。併せて活動をコントロールしやすいグループ旅行でトライアルをしながら例を積み上げることも必要だ」と話した。

各国の要人がフォーラムに参加

首里城イベントには玉城知事が参加

このほか、インバウンドセミナー、沖縄文化に触れる交流事業「OKINAWA NIGHT」、首里城復興支援金贈呈式などが開催された。OKINAWA NIGHTに出席した沖縄県の玉城デニー知事は「感染防止対策、新しい生活様式への対応を示すとともに、観光需要の復活を目指す。沖縄の魅力を存分に発信し、大勢の観光客を迎えたい」と観光のV字回復への意欲を示した。

2日目には、ダークカイツーリズム（星空観光）やアドベンチャーツーリズム、DX（デジタルトランスフォーメーション）をテーマにした「テーマ別シンポジウム」のほか、「第7回世界遺産サミット」、観光教育や危機管理などを題材にしたセミナーが実施された。世界遺産サミットでは①世界遺産の保全について～日々の管理と防災の視点から～②世界遺産の次世代への継承に向けた取り組み～文化的価値と観光資源価値の共存～③世界遺産×IT～世界遺産の新たな魅力の創造～をテーマにした分科会などが行われた。

沖縄県内から多数の組織が出展

テーマ別シンポジウムの様子

このほか、同時イベントとして「リゾテックオキナワ」「JNTOインバウンドセミナーin沖縄」「おきなわフードフェスタ」「沖縄国際映画祭2021プレイベント　島ぜんぶでおーきな映画上映会」などが開かれた。

来場者からは「沖縄で久しぶりに開催される大きなイベント。いろいろな観光地が紹介されていてワクワクした」「知らない地元・沖縄の魅力を発見できた」などの声が上がった。

来年1月7～9日には、東京ビッグサイト西展示棟（東京都江東区）で「ツーリズムEXPOジャパン　TEJ東京商談会／トラベルフェスタ」を開催する予定。

人気を集めた泡盛ブース

→世界遺産サミット開催

→入退場はスマホで確認

教育旅行、フリープランで感動「離島旅」

沖縄で5番目に大きな島

久米島

青い楽園「ハテの浜」

TEJ沖縄では業界関係者向けにファムツアーが実施。沖縄本島や離島など全18コースが設定された。

久米島町観光協会では、「沖縄本島から飛行機で30分！久米島を遊びつくすおすすめ体験旅」をテーマに1泊2日のツアーを開催。ツアーでは、SDGsや地域の歴史・文化を学ぶプログラムが実施された。久米島ホタル館では川や湿地に入りエビや魚を探す体験や生物の多様性の大切さなどを学ぶ学習、沖縄料理を家庭で味わう「ホームビジット」、琉球王朝時代（1750年ごろ）の士族の家など歴史的景観を残す「西銘集落」の散策などが行われた。

観光地の視察では、青い楽園といわれる「ハテの浜」、幾何学模様が美しい「畳石」、久米島を360度一望できる「宇江城城跡」などを巡った。食事では、100％久米島の食材を使用した「島味噌（みそ）もやしそば」などが提供された。

参加者からは「自然が豊かなことだけでなく、新しい生活様式に合ったさまざまな本物の体験ができる場所」「島の人々の生き方を

ホームビジット体験

SDGs体験が豊富

川や湿地で生物の多様性を学習

西銘集落にある上江洲家

海を眺めながら「朝ヨガ」

地域の人たちとふれあいながら体験できた」などの声が上がった。

「久米島は沖縄で5番目に大きな島。SDGsを学ぶプログラム、民泊体験、フィールドワーク、アクティビティなど教育旅行の素材は抱負だ。最近では、家を出る時よりも笑顔になって帰る旅『家出旅』も提案している」と同協会。

Fujitaka

検温ゲートシステム

喫煙ブース「SMOKE POINT（スモークポイント）」などを提供しているFujitaka（フジタカコーポレーション）は、コロナ禍の検温ニーズを受けて「検温ゲートシステム」の提案を強化している。

このシステムは、入退場ゲートに、サーモグラフィーカメラを組み合わせたもの。利用者は、ゲート通過前に検温を行い、警報体温以下と認識された場合のみ入場が可能となる。また、マスク着用の有無もチェックし、施設内へのマスク未着用の人を通さない。

作業の無人化で人件費節約

検温ゲート

「検温作業の無人化による人件費の節約と、非接触のため従業員の感染リスクを低減できる」とアピール。また、配管工事がいらない鉄板スロープによる据え置きタイプなので、設置場所は簡単に移動可能。併せて、既設の検温器との連動も可能だ。コロナ収束後は、防犯セキュリティの強化が図れる顔認証端末として利用できる。

優れた耐候性に加え、スタイリッシュなデザインも特徴。「ゲートは施設の顔。全てのお客さまが最初に通る場所だからこそデザイン性も重視した」と同社。ボディ中央のアクリルウインドウを透かし、透明感を打ち出した。本体幅はスリムなため、エントランススペースを有効に活用できる。

音声、ランプによるアナウンス機能は、最大7種まで設定が可能。ICカードや、バーコードなどのチケットリーダーにも対応するほか、オプションでパネルディスプレイを搭載できる。

ほかにも、バリアフリー対応や、回転アーム式、置くだけで簡単に設置できるゲートなどにも対応可能という。

クボタ計装

加湿空気清浄機

ピュアウォッシャー

ロビーなど人が集まる場所に

クボタは、業務用加湿空気清浄機「ピュアウォッシャー」を旅館・ホテルに提案している。すでに食品工場や介護施設などに幅広く導入されている。

ピュアウォッシャーはクボタがクリーンルーム用空調機で培った「エアワッシャ技術」を搭載。1台で約200平方㍍（約120畳、テニスコート1面分）に対応する。「この1台で除菌、加湿、消臭、空気清浄を行う。ロビー、宴会場など、大人数が集まる場所に設置してほしい」と販売を手掛けるクボタ計装、ピュアウォッシャー営業部の寶田（ほうだ）俊介氏。

1時間で最大1400立方㍍の出力を誇る大容量ファンで室内の空気を吸い込み、浮遊菌や浮遊ウイルスなどの微細な不純物を物理的に取り除く。捉えた菌、ウイルスは、機内で生成した殺菌力に優れた「微酸性電解水」で分解した上で排出する。

この微酸性電解水は、希塩酸を電気分解してできる殺菌成分「次亜塩素酸」を主成分とする除菌水。簡単操作で直接取り出すことが可能。スプレーで吹き付けて、テーブルやドアノブ、手すりなど日常的に多く人の手が触れる箇所を拭き上げることで、菌やウイルスの抑制に効果的という。

給排水接続型のため、従来の加湿空気清浄機にみられる給水や排水が不要。機内の洗浄は自動で行うため、施設スタッフの作業の軽減も図れる。施設側の作業は月に1～2回行うプレフィルタの清掃と、3～4カ月に1回の薬液カートリッジの交換のみ。

操作は専用のタッチパネルで簡単にでき、クボタ指定の業者が半年に1回訪問し、定期メンテナンスを行うので安心だ。

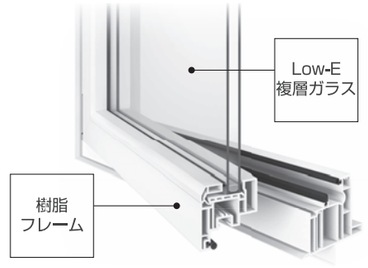
サイズは、高さ1815×幅700×奥行き435㍉。

特集　旅館・ホテル向け「設備」新商品を紹介

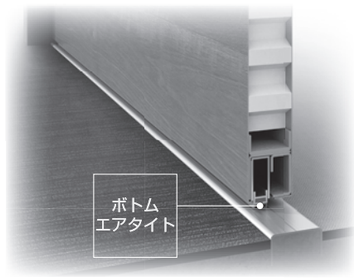
今回の旅館・ホテル向け商品情報のテーマは「設備」。宿泊客の滞在をより快適なものにする新商品を紹介する。

ホテルの開口部から“おもてなし”

高断熱・結露抑制



防音・安心



GOOD DESIGN AWARD
2019年度受賞

詳しくは

YKK AP株式会社 https://www.ykkap.co.jp/search-b/

「喫煙者」にも、「非喫煙者」にも、
ストレスフリーな分煙環境を。

喫煙ブース SMOKE POINT
スモークポイント

厚生労働省が定める喫煙対策のための技術的要件をクリア！

●ダクト工事不要。屋内にそのまま設置OK！
●3つのフィルターで、タバコの煙をクリーンにして排出！
●100V電源が使用できれば設置OK！

スモークポイントは、他にもラインナップをご用意。詳しくはお問い合わせください。

※総揮発性有機化合物

株式会社Fujitaka® お問い合わせ窓口 0120-533771 受付時間／平日9:00~18:00
本社／〒600-8216 京都市下京区東塩小路町606 三旺京都駅前ビル7階 営業・サービス全国ネットワーク www.smokepoint.jp

宿泊客の滞在を より快適なものに

特集

TOTO

瞬間式ウォシュレット

TOTOは、パブリックに求められる機能、配慮を充実させた瞬間式ウォシュレット「アプリコットP」を販売している。

ウォシュレットの最上位モデル「アプリコット」は、スリムなデザインに加えてトイレを快適に使用するための清潔機能を搭載。このアプリコットには、不特定多数の利用者に配慮した機能や操作性、施設でのウォシュレットの維持、管理のしやすさなど、パブリックトイレならではの機能を搭載したパブリック専用モデルもラインアップされている。

管理、清掃の負担を軽減

別売りの管理者専用リモコンで複数台の管理が可能

押すたびに発電し、乾電池交換や電源工事が不要の「エコリモコン」に加え、利用者のプライバシーに配慮した擬音装置「音姫」を標準搭載。さらに、ウォシュレットを複数台、複数機種設置しているパブリックトイレの管理、清掃に便利な「ウォシュレット管理清掃用リモコン」も用意（別売り）。リモコン一つで連続して複数のウォシュレットの設定、操作が可能だ。

パブリックトイレとは、宿泊施設や交通機関など、住宅設置以外のトイレのこと。住宅用とは異なり、利用者、管理者、施主が違うため、それぞれに配慮が必要とされる。同社はこれまでも、住宅トイレと異なる配慮ポイントに対応すべく、パブリックトイレ用商品を進化させており、最新機種ではさらなる機能充実が図られている。

また、同社では、より多くの空間に調和し、より多くの人に使いやすいパブリックトイレを実現できる商品群「PUBLIC RESTROOM ITEMS（パブリックレストルームアイテムズ）」を展開している。

YKK AP

高断熱樹脂窓

住宅・ビル建材のYKK APは、ホテル・旅館などの宿泊施設専用の商品を強化している。それが、高断熱樹脂窓「HOTEL MADO（ホテルマド）」と、客室と廊下間の音漏れに配慮した「HOTEL DOOR（ホテルドア）」だ。

HOTEL MADOの「内倒し・内開き窓」

HOTEL MADOは、ビル商品として最上位クラスの高断熱性能がOTEL MADO（ホテルマド）」と、客室と特徴。樹脂フレームとLow-E複層ガラスにより、これまでの宿泊施設で主流だったアルミ窓に比べ、約3倍の断熱性能を実現する。

これにより「コールドドラフト」と呼ばれる窓辺からの不快な冷気を抑え、暖かいくつろぎ空間を実現し、冷暖房費用の削減も期待できる。さらに、窓の高断熱化で結露の発生を抑制して部屋の空気乾燥を抑えて肌乾燥やウイルスの活性しにくい客室環境に配慮できる。また、換気に伴う窓開閉時の転落やモノの落下を回避する機構など安全・安心目線の設計も特徴だ。このほか、窓が内側に開く仕様により、管理者が外側のガラス清掃を安全、容易に行えるようになったことや、20階建て程度の高層ホテルにも対応する高強度仕様で、宿泊施設に適した仕様となっている。

アルミ窓比、約3倍の断熱性

一方のHOTEL DOORは、客室ドアを閉めると、扉下部からエアタイト材が下降し床と密着して、ドアと床の隙間をふさぐ。これにより音や光漏れを防止し、快適な安眠環境を提供する。また、心地よい空間を美しくコーディネートする全28色のドアカラーデザインも特徴だ。

両商品はともに、2019年度のグッドデザイン賞も受賞。「現代の宿泊施設に求められる機能を高い次元で具現化した」と評価された。低炭素社会への貢献や、施設の感染予防対策の検討など、環境面でも経済面でも大きなメリットのある商品だ。

大建工業

内装用不燃ルーバー

大建工業は宿泊施設向け製品開発に注力している。木目柄内装用不燃ルーバー「グラビオルーバーUB」、突板仕様の「グラビオルーバーUS」、木目柄不燃壁材「グラビオUS」など、造作材、壁材のほか、土足対応可能な床材「コミュニケーションタフDW」や、木目柄の軒天「軒ライト30」「同45」などのラインアップも増やしている。

ルーバーは建物の外壁や窓、天井に使われる建材。細長い板と隙間を空けていくつも並べ、日の光や人の目線を遮断するほか、室内の風通しを良くしたり、デザイン性を高めたりする。近年は公共施設や商業施設で採用されるケースが増えている。

壁材は木目柄の不燃材を展開。シートタイプの「グラビオUB」のほか、化人工突板仕様の「グラビオUA」、天然木突板仕様の「グラビオUS」を発売し、グレード別の製品群を増やしている。

床材はロビーや客室などで土足対応フローリング需要が高まる中、近年発売した「コミュニケーションタフ防音」の引き合いも多くなっている。同製品は、防音性能を高める特殊加工を基材などに施した天然木化粧床材で、床下を二重構造にする必要がないため、工事費用削減のメリットがある。

近年は内装木質化の需要が高まっている。同社では、その需要に応えるため、木目柄の軒天などの製品を展開している。

また、機械すき和紙でできた畳表「健やかおもて・清流」も提供。い草に比べて汚れに強く、変色しにくいうえ、ダニやカビの発生が少ない。タバコの焦げ跡や重量物の凹み跡も通常のメンテナンスで目立たなくすることができ、長持ちするとして評価されている。

同社は、これら製品を中心にホテル、旅館への提案を強化している。

定期的メンテナンスが不要

グラビオルーバーUBの導入例

キノウを超える、ミライへ DAIKEN

床材：コミュニケーションタフ DW（地域産材対応突板）　壁材：グラビオUS　天井材：グラビオルーバーUS

DAIKENは『技術』で地域産材活用を応援します。

床材
独自のWPC加工をすることで土足用フローリングとして活用できます。

壁材・天井材
不燃性能を確保しながら天然木突板ならではの美しい佇まいの演出が可能です。

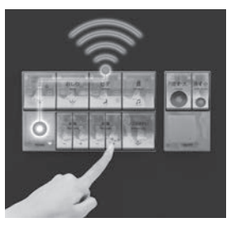
対応可能な樹種、数量、納期、発注ロットなどはお問い合わせください。

DAIKEN 秋葉原テクニカルスペースでご覧ください　完全予約制
〒101−8950 東京都千代田区外神田三丁目12番8号 住友不動産秋葉原ビル3F
FAX：03−5296−4041 開館時間：10：00~17：00 休館日：土日祝日、夏期、年末・年始
ご予約はこちら

大建工業株式会社　お問い合わせ先 https://www.daiken.jp/support/　DAIKEN お客様サポート　検索（カチッ）

TOTO

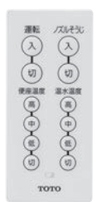
ウォシュレットの維持管理のしやすさに配慮しました。



■電源不要な「エコリモコン」
ボタンを押すと発電し、その電力でリモコンが作動。乾電池交換や壁裏の電源工事が不要です。

■ノズルきれい
トイレ使用後に「きれい除菌水」がノズルの内側・外側を自動で洗浄・除菌するため、きれいが長持ちします。

■ウォシュレット管理清掃用リモコン（別売品）



温度設定や清掃時のノズル出し / 戻しが簡単に操作でき、管理・清掃の手間を軽減します。

複数台・複数機種のウォシュレットの温度設定・ノズル掃除操作を、リモコンひとつで連続して行えます。

※詳しくは当社カタログ、またはホームページをご覧ください。
※「ウォシュレット」はTOTOの登録商標です。

TOTO技術相談室 電話:0570-01-1010 受付時間:〈平日〉9:00～18:00 〈土曜日〉9:00～17:00（日・祝・夏期休暇・年末年始を除く）
専門家コーナー「COM-ET」www.com-et.com　TOTOホームページ https://jp.toto.com